

家庭学習の充実に向けて【中学校】

「学力の樹」を育てるための土壌づくりをし、丈夫な根を育てていきましょう。



【自主学習例】

こつこつとていねいに取り組む学習

- 理解を深めるために、授業のノートやプリントを見直し、教科書や資料集を読んで読解力をつけたり、ポイントを書き加えたりする。
- テストで正答できなかった問題を見直し、類似の問題に取り組む。
- 漢字を毎日こつこつ何度も書いて、確実に身につける。また、覚えた漢字は普段から積極的に使えるように心がける。
- 社会では、地名が出てきたら地図で場所をチェックし、歴史上の事柄は、流れを年表で確認し、自分の言葉で説明できるようにする。

習ったことや興味・関心を生かした学習

- 技術家庭科で学んだことを日常生活に生かし、調理やボタンつけなど、自分の力でできることを見つけて挑戦する。
- 音楽鑑賞や読書に親しむなど、教養を深めるための学びに取り組む。
- 保健体育では、自分の興味のあるスポーツについて調べたり、見たりして親しむとともに、自分自身でも挑戦する。
- 社会情勢等に目を向け、学習したことと関連付けたり、自分で考えてみたりする習慣をつけ、考えたことを家族や友だちと話し合う。

自分で考えて粘り強く取り組む学習

- 授業で疑問に思ったことを、教科書や資料集やインターネット等を使って調べる。
- 数学の基本問題が解けるようになったら、様々な応用問題に挑戦する。
- 英語で学習した単語や語句を用いた文章を作る。
- 美術の教科書や資料などをもとに芸術作品の世界観やよさについて考え、自分なりの見方ができるようにする。
- 理科で実験や観察の結果だけを暗記するのではなく、資料を見ながら、なぜそうなるのか考え、説明できるようにする。